

# わたしの日記帳

伊万田あひる

現在、私は3種類の日記をつけています。博文館一〇年連用ダイアリー、大学ノートの自由日記、そしてパソコンによるローカル版（ネットに接続しない）ブログです。日記の目的／効用は、いろいろあります。私の場合は、備忘録と認知症予防と漢字を忘れないため。そのために、3通りの日記をつけています。

◆日記をパソコンで書く場合、ワードなど文書ソフトを使うよりブログのほうが書きやすい。レイアウトがすっきりしており、読みやすく書きやすい、きれいに収まる。日々の更新もしやすい。何日分でも書ける。ワープロソフトの場合は、日数が増えるとファイルを別に分けなければならない。後日の検索も大変。なお通常のブログは、運営会社が管理する外部のサーバーに保存され、インターネットで検索すれば誰でもアクセスできる。誰でも読めます。読者との相互通信も容易にできます。これがブログの特徴であり利点です。

◆しかし、私のように読者を期待せず、《ただ自分の日記／日誌として》「ペンで紙に書くより、キーボードのほうが数段書きやすく筆が進む、写真も資料も添付できる。だからブログを使う」と

いう者にとつては、外部との相互通信可能という利点が邪魔になります。それは、他人も読めるからです。プライバシーが問題となり、内容によっては大きな問題となり、「炎上」したり、重大な責任を問われかねません。

◆だから私は、これを避けるために、ブログの使いやすさだけを享受するために、今年から自分のパソコンだけで完結する《ローカル版のブログ》を始めました。自分以外は誰も読むことはできない。だから、何でも書ける。固有名詞や秘密のこと、恥ずかしいこと、公開されたら問題になることも。ただ自分の気持ちを吐露するために、精神衛生上のために、そして備忘録としての事実も書き、後日再び役に立つであろう様々な情報やノウハウを写真付き、資料付きで細かく書き留めるために、きょうもブログを書いています。ローカル版といってもブログですから、他者との相互通信を除いて、ブログの優れた機能をすべて利用できて大変便利です。

(注) ローカル版ブログは、パソコンにXANMPというパッケージソフトとブログ用ソフトWordPressをインストールして使用します。